

CHILD SEAT 購入ガイド

失敗しない! 今どきのチャイルドシートの選び方

生まれたその日から6歳まで着用が義務づけられている、チャイルドシート。進化し続ける今どきの製品には安全性や利便性が向上する新機能が追加されていることをご存じだろうか。あなたが「買ってよかった!」と思える1台と出会えるために、必ず知っておいてほしい“購入のポイント”を伝授します!

Photo >> KOUICHI IMAI Text >> REGGY KAWASHIMA

CHECK!

今どきのチャイルドシート選びで、気にしておきたいチェックポイントはこの3つ!

ユーザビリティ

子供への安全性と大人の使い勝手を良くしてくれる機能は必ずチェックしよう。衝撃から赤ちゃんを守る衝撃吸収性のクッション素材の搭載、日差しやエアコンの風を防ぐサンシェード、赤ちゃんが起きているときには起こして、寝ている時には倒せるリクライニング機能などが人気だ。

回転式

座面が360度回転するタイプの「回転式」チャイルドシートなら、たとえ狭い駐車場でも、パパやママが無理な姿勢で腰を痛める心配もなく、スムーズに乗せ降ろしができる。さらに停車中の車内で子供のミルクやオムツが必要になっても、好きな角度でお世話ができて便利である。

ISO-FIX(アイソフィックス)

シートベルトを使用しないタイプの設置方法のこと。クルマの座面のISO-FIXアンカー(2012年7月以降販売の全自動車に採用されている取り付け器具)にチャイルドシートのコネクターをドッキングして固定する。簡単で、より正しく取り付けすることができる。

以上、3つのポイントを兼ね備えた、いま売れ筋の人気商品はこれだ!



◀ P12

独自開発のエアパッドを搭載

TAKATA Child Guard 1.0



◀ P14

困った!に対応する機能が充実

AILEBEBE KURUTTO 4i



◀ P16

包み込まれるような座り心地

RECARO ZERO.1